

4月10日(土)から12日(月)にかけて、数万人の人数となる銚子大神祭が行われます。これは20年に一度、東大社(東庄町)、雷神社(旭市)豊玉姫神社(香取市)の三社が三日間にわたり行うもので、それぞれの神輿を中心に、氏子らが銚子市までの片道30キロにも及ぶ道のりをお供します。また、東大社のお供の氏子が、道中に設けられた15の関所で、古式ゆかしい芸能を披露し、人々を楽しませます。東大社御神幸の運営や芸能などにたずさわる関係者だけでも総勢二千人余り。これらの実行委員や参加者をつなぐ事務を親子二代で担当するのは、高嶋捷邑さんです。

## とうの笑しょう face

まちの輝く笑顔をご紹介します

### 東総地域最大の神幸祭 親子二代で事務を担当

高嶋さんは、父の信也さんが前回務めた東大社の事務担当に加え、東大社、雷神社、豊玉姫神社の三社で作る実行委員会の事務も兼務しています。3市1町にわたる大勢の関係者との連絡やさまざまな相談を一手に引き受け、皆の準備が進むよう説明や調整を行います。その際、頼りになるのは20年前に信也さんが残した記録書や日記。書道の師範らしい美しい文字で整然とつづられたノートは、当時の準備の様子を知る唯一の手がかりです。それを参考に、予定の先を考えて毎日忙しく走りまわる姿は、「おじいさん」とびったり同じ」と先代の官司から言われるほどです。

### 経験生かし 準備に奔走

高嶋さんは、平成16年まで千葉県の職員として数々の大きなイベントに関わってきました。首相や大臣が出席する6都府市の大規模な防災訓練、平成元年にできた幕張メッセのオープンを記念して盛大に開催された40カ国国際会議も担当。主催者側のスタッフとして、食事がのどを

## 九百年続く伝統行事



### 皆の力で無事に やり遂げたい

たかしま かつくに  
高嶋 捷邑さん (66歳、青馬) 〈写真中央〉  
東大社式年大神幸祭の事務を担当する

たひょうたんの置物作りが趣味ですが、最近では触る時間もありません。

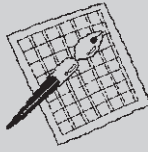
### 裏方の宿命 信念を貫く

頭の中には、すでに神幸祭終了後までの予定が入っています。そのため他の人より「やりすぎてしまう」と思うことも。しかし、イベントには、すべてを把握して動く人が必要です。やると決めたことを皆が安心してできるよう、高嶋さんは裏方として全身全霊で準備に取り組んでいます。事務的なことのほか歴史について聞かれることも多く、過去の文献や歴史書を見ることが増えました。時には歴史認識の違いや、各地域の郷土を思う強い気持ちから生まれる意見に悩みながら勉強することもあるそうです。そのときは「正しい記録と事実を次世代に残したい」という信念を胸に、先人が残した文を読み返します。そして、今わかっている歴史と合わせて今回の記録を信也さんのノートに続けて記します。20年前、父に言った「そんな一人でもやる必要があるのか」という問いの答えを、自ら経験して出そうとしているようです。

通らないほどの緊張や膨大な事務量、仲間と無事にやり遂げた後の達成感を経験してきました。それゆえに今の立場は「自分の意志というよりは、いつの間にかそうなってしまう」という宿命の役割。もちろん実行委員と協力して準備を進めますが、高嶋さんは総務、会計、芸能・祭

事連絡など多くの係を兼務しています。多種にわたる物資の調達から官公署・団体との打ち合わせ、関所の使者受けの台本作りや演技指導まで行います。会議資料の作成に朝4時からパソコンに向かうこともしばしばで「分身がほしい」と苦笑い。高校時代は書道部という達筆な書を生かし

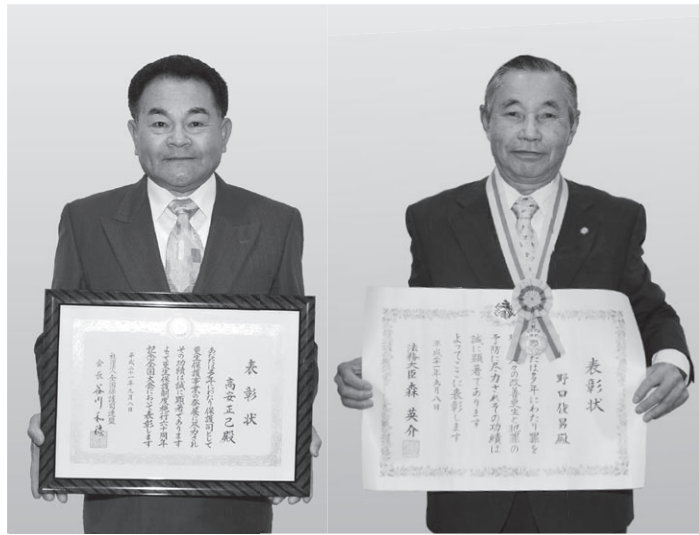
# 町長日誌 (1月)



- 4日 辞令交付、新年挨拶、庁議、庁議連絡会議
- 5日 千葉県町村会正副会長新年挨拶知事訪問(千葉市)、千葉日報新春賀詞交換会(千葉市)
- 6日 香取郡市町会名刺交換会(香取市)・臨時総会(神崎町)
- 10日 成人式・新春懇談会
- 11日 消防団消防出初式・祝賀会
- 12日 千葉県都市計画審議会(千葉市)
- 14日 千葉県農業会議(千葉市)
- 15日 農業振興地域整備促進協議会、臨時庁議
- 19日 保健衛生事業打合せ会議
- 20日 農業委員会
- 22日 千葉県後期高齢者医療広域連合協議会(千葉市)、工業団地連絡協議会新年会
- 25日 新年市場表敬訪問(東京都)
- 26日 交通安全新春祈願祭
- 28日 議会臨時会
- 29日 全国町村会定期総会(東京都)、保護司会受賞祝賀会

## 岩田町長が千葉県町村会長に就任

2月10日(水)県自治会館で行われた千葉県町村会定例会で、岩田利雄町長が千葉県町村会長に選出され、同日付けで第28代千葉県町村会長に就任しました。千葉県町村会は、県内20町村の町長と村長で構成され、町村行政を円滑に運営することなどを目的に活動しています。



全国保護司連盟  
会長表彰  
**高安 正己 氏**  
(69歳 八木山)

法務大臣表彰  
**野口 俊男 氏**  
(71歳 宿浜)

野口さんは「罪を犯す状況に置かれた人たちは、いろいろな条件が重なり、だんだん

と追い込まれていきます。罪を犯した人に更生の手助けをするのも保護司。罪を犯さない気配りができる社会にするための努力をするのも保護司」と、思いやりと人の絆が地域の犯罪を防ぐと感じながら活動してきました。これからも温かく公平な目で地域を見守っていきます。また、保護司として活動する仲間との深い信頼関係があるからこそ、この職を長く続けていられるとも話してくれました。

また、同会は、地域社会を守るための啓発活動も熱心に取り組んでいます。例年「社会を明るくする運動」キャンペーンを実施し、安心安全な町づくり尽力しています。

法務大臣表彰を受賞した野口俊男さんは、昭和62年に保護司に就任。22年にわたり犯罪者の更生保護に力を注ぎ続けています。また、温厚で誠実な人柄で、町保護司会長として会をまとめています。

全国保護司連盟会長表彰を受賞した高安正己さんは、昭和63年に就任し、野口さんとともに21年にわたり保護司を務めています。高安さんが最も大切にしているのは「秘密の厳守」。真面目な人柄で、相談者との信頼関係を守り続

けています。  
**東庄町保護司会の活動**  
青少年を薬物被害から守ろうと、東庄町保護司会は、平成13年から東庄中学校で薬物乱用防止の講演会を開催しています。このような積極的な取り組みを毎年続けている保護司会は、千葉県内で東庄町だけです。

# 更生保護と地域防犯に尽力 保護司2名が全国表彰受賞